

## 県平和委員会第3回「理事会」開催される!

「戦争と平和展」、県知事選等、各地域でのとりくみの報告と総括!

平和宣伝行動、新聞意見広告、憲法を生かす3000万署名等を確認!



県平和委員会第3回理事会が9月16日(土)午後1時から青少年会館で開催されました。協議内容が膨大でしたが、延べ39人が発言し、豊かな活動が共有されました。議長は近藤常任理事(土浦)、岡本常任理事(つくばみらい)、参加者は38人でした。

### \*1つは第2回理事会(7/14)以後の情勢ととりくみの報告です。

国際、国内情勢

茨城県で初めて市民と野党とが共闘してたたかった県知事選挙

戦争と平和パネル展の取り組み

原発いらない8.26茨城アクションに1100人参加

自治体へ平和行政の提言 ⇒ 東海第二原発20年延長反対、核兵器廃絶国際署名仲間づくりと組織の強化・財政等



### \*2つ目は年末までの取り組みの確認です。

- ① 平和宣伝行動(10月) 県内6グループで行動
- ② 日本平和大会(11月28日~29日 山口県岩国市で開催)
- ③ 「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一3000万署名」  
全国市民アクションが提起。12月20日(1次)、4月25日(2次)、5月末(3次)
- ④ 新聞意見広告のとりくみ(11月~12月)
- ⑤ 東海第二原発廃炉のたたかい
- ⑥ 「核兵器禁止条約調印を求める意見書」の陳情・請願 ⇒ 12月議会へ
- ⑦ ワインの普及
- ⑧ 仲間づくりと組織の強化



## ■ヒバクシャ国際署名で、日本政府に、地域から核兵器禁止条約の採択を迫ろう!

核兵器の使用や保有などを法的に禁止する「核兵器禁止条約」は7月7日、米ニューヨークの国連本部の条約交渉会議で、世界の3分の2を超える122の国々の賛成で採択されました。人類史上初めて核兵器を違法化する歴史的な瞬間です。国連では9月20日から各国の署名が始まり、50ヶ国の批准を得て発効します。

いま、核兵器を持つ国は国連加盟193カ国の中でもわずか9カ国です。それらの国が決断をすれば、核兵器のない世界になります。核兵器の脅威から脱出するためには、核兵器を廃絶すること

しかありません。北朝鮮が世界各国からの非難をよそに核兵器の開発を強行している今、被爆国である日本政府が核兵器禁止条約を批准することが大きな意味を持ちます。しかし残念ながら、日本政府はこの禁止条約交渉会議に参加していません。アメリカの「核の傘」に固執し、核兵器禁止条約への参加を拒否しています。それは被爆者と被爆国の国民の願い、「日本国憲法九条」にも反する態度です。

日本政府の参加を促すためにもヒバクシャ国際署名の意義は極めて重要です。日本政府の核抑止依存政策を変えさせ、禁止条約の締結国に加わることを求めるためにも大きな意味をもちます。

## 安倍自公政権の身勝手さ極まる!

### 臨時国会冒頭解散 濃厚に!

9月28日に始まる臨時国会の冒頭に衆議院を解散することになれば、加計学園や森友学園の問題も追求されず、今なら勝てるという党略的対応しか考えない安倍自公政権の身勝手さに、国民生活を委ねることは到底できません! 疑惑隠してまったく大義のない解散のもくろみは、安倍政権による国政私物化と憲法破壊の政治への国民の厳しい怒りをかうとともに、国政を変える大きなチャンスでもあります。政治の方向を決めるのは私たちです。ひとかけらの道理もない安倍政権を国民のたたかいで追い込んでいきましょう!

茨城県平和委員会に結集している地域の平和委員会・平和の会のみなさん、意気高く奮闘しましょう!

9月19日 茨城県平和委員会

## ■大会以後、新しい仲間が21人増えました!

具体的には、6月=11人 7月=5人 8月=5人です。大会方針は、「毎月全体で5人以上の新しい仲間を迎える」です。

2ヶ月にわたって、代表理事が仲間づくり活躍しています。各平和委員会が2~3ヶ月に1人の新しい仲間を迎える体制を構築する必要があります。

また各平和の会の会費は2~3を除いて、期日内に納入されています。担当の方々ご苦労様です。散在会員の納入について、事務局の対応が必要になっています。

## 平和新聞

2017年9月25日(月)

2149号(毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

## 平和かわら版

平和新聞茨城版

No. 788

2017.9/25

発行: 茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

## 【1面つづき】【県平和委員会第3回「理事会」】

### ■ 軍事費は後年度負担で10兆4800億円！軍拡よりも国民生活優先の政治を！

日本の軍事費は北朝鮮の問題を口実に増大の一途をたどっています。日本の軍事増強は北東アジア地域に緊張を生み、軍事費はさらに増大します。事実上の青天井です。安倍政権になった6年前から増額になり、4年前に5兆円を超え、その後も増額の連続で18年度の概算要求は過去最大の5兆2551億円となりました。

その上に別枠の「後年度負担」もあります。後年度負担とは、単年度で払いきれない高額兵器を購入する際、次年度以降に分割して払う仕組みです。15年度には兵器購入に限り「5年間」を「10年間」に伸ばせるよう、法改正しています。安倍政権になってから14年度3兆6000億円、15年度は4兆円を突破。19年度に支払う後年度負担は5兆2250億円です。今や単年度の軍事費と同額となり、軍事費は合計で10兆円以上になっています。

安倍政権はアベノミクスと称して軍事費を増強する一方、働き方改革として非正規労働者を増やし賃金を押さえました。福祉・医療の削減を行い、私たちの生活は苦しくなる一方です。他方、大企業の内部留保は144兆円も増加し、今年は、総額400兆円を超えています。こんな格差は是正するほかありません。

### ■ 北朝鮮のミサイル発射問題を、戦争できる国づくりのテコにする安倍政権！

安倍政権は北朝鮮のミサイル発射問題で危機を煽り、国民の命を守ることを忘れていました。8月29日午前6時6分に北朝鮮が日本列島横断の弾道ミサイルを発射した際、安倍首相は前夜に知っていたにもかかわらず、発射直後の早朝にJアラートシステムを作動させました。情報を察知したら国民の命を守るための措置をすぐ取るのが政府のやるべきことです。避難する時間すら取れない状況でJアラートを発動させるなどあってはなりません。しかも茨城を始め、北海道、東北、北関東3県、新潟、長野に発動させて、埼玉、東京、神奈川、千葉などには発動していません。

ナチス・ドイツのヘルマン・ゲーリングが言った「国民は指導者たちの意のままになる。それは簡単なことで、自分たちが外国から攻撃されていると説明するだけでいい」を彷彿とさせる、軍事費増大のため意図的に煽っていることは許せません。

### ■ 県知事選は、茨城で市民と野党の共同で闘った初めての経験！

県知事選は、市民と野党。政治団体が共同して取り組みました。茨城で初めての経験でした。さまざまな条件や困難を乗り越え、最終的には7月21日（金）に、「日本共産党茨城県委員会」、「新社会党」の2政党と「つくば・市民ネットワーク」、「取手生活者ネットワーク」、「緑の党グリーンジャパ」ン、「茨城一新会（小沢一郎後援会）」、の4つの政治団体の支援を記者会見で明らかにしました。民進党は自主投票、社民党は決定しませんでした。いのち輝く会作成のチラシ配布を行い、少なくない党員も支援行動に参加しました。

鶴田真子美さんは様々な困難の中、「県民のいのちと暮らしを守る。小さいいのちも大切に」を掲げ、いのち輝く茨城をつくるため「東海第二原発の廃炉」「財政の使い方をガラリと替え、国内8位の財政力に見合う県民福祉の充実」を訴えました。結果は3位でしたが、様々な困難の中で今後に残る成果を上げました。



### ■ 各平和委員会で、自治体へ平和行政の提言とりくみが進む！

「非核平和都市宣言」は県を含む全自治体で採択しています。また平和首長会議は県内44自治体の首長が参加しています。

これらの成果を背景に、「核兵器廃絶署名」や「東海第二原発の再稼働反対」、「広島・長崎大会への平和大使派遣」などに関する自治体との懇談を進めています。要請の結果、核兵器廃絶署名を自治体の庁舎に置くことを了解した石岡市、東海第二原発の稼働20年延長反対を「全会一致で意見書採択」をした守谷市議会のような自治体も出てきています。

核兵器廃絶署名の茨城の到達点は、9月4日現在で、26,281筆です。自治体首長の肩書署名は、30自治体に上り、未署名は茨城県、水戸市、常総市、北茨城市、笠間市、取手市、つくば市、ひたちなか市、那珂市、桜川市、行方市、銚田市、大子町、阿見町、八千代町の1県11市3町となっています。地域の組織を中心にして早急に迫りましょう。

## JCO臨界事故を忘れない 原子力事故を繰り返させない

「2017年9月30日茨城集会」

東海第二原発の20年延長を考える  
(シンポジウム)



とき 10月1日(日) 午後1時30分～4時  
ところ 東海村産業・情報プラザ(アイヴィル)  
(東海駅東口徒歩2分)東海村舟石川駅東丁目1-1  
主催 2017.9.30茨城集会実行委員会  
029-225-8662 新婦人の会

### パネリスト

東海第二原発の安全確保に関わる問題  
原発問題住民運動全国連絡センター代表委員 小林栄次氏  
低線量汚染地域で生きる苦悩  
いわき市民訴訟団 菅家 新氏  
柏崎刈羽原発審査合格 新潟県の今後の対応  
新潟大学名誉教授新潟県原発技術委員会委員 立石雅昭氏  
コーディネーター 実行委員長 田村武夫氏

## 冤罪布川事件 50年のつどい

冤罪事件は今も・・・

布川事件無罪への軌跡 冤罪のない明日へ！

とき 2017年10月7日(土) 13:30～16:00  
ところ 水戸文化交流プラザ(びよんど)6階  
水戸市五軒町1丁目2-20  
(Tel.029-226-4156)



内容 映像でつづる布川事件  
山本裕夫弁護士の話(布川弁護団)  
桜井昌司「うたと語り」

主催 つどい実行委員会(029-231-4555)はばたき

資料代1000円